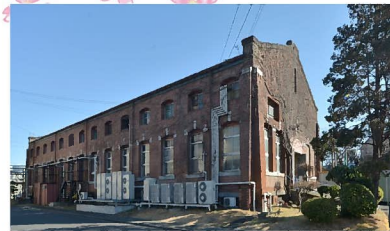


近代化が進み高層ビルが建ち並ぶ大井のまちにも、よく見るとタイムスリップしたような昔のおもかげを残す蔵やレンガ塀などが数多く残っています。今回は、それら歴史の足あとを探しにまちに繰り出しました。  
【巻山・高木・渡邊・鯉津・飯野・近藤・杉山・井田・和田・矢野・嶋村】

## 赤レンガ造りへJR変電所へ

大井町から品川方面へ向かうJR敷地内にツタの絡まる赤レンガの建物：お気づきでした？ JR東京総合車両センター総務科長の岩原さんへ直撃取材しました。  
川崎の発電所から送られる電力の変電所として、大正3年に建てられ、東京駅と同じ歳です。建屋頂部の瓦には「帝国鉄道庁 I G R (Imperial Government Railway)」のマークが刻まれています。現在、半分は当時のままの吹抜でガスボイラーや高圧変電器室に使われており、半分は2階建のプレハブが建てられ関連企業が入っています。関東大震災(大正12年)にも耐え、102年経った今も現役で使われています。品川百景にも選ばれています。  
取材後、京浜東北線の車窓より見ると、今まで以上に荘厳で歴史を感じ、目に飛び込むようになりました。



夏はツタが覆われて、表情が変わります。現在は当時のままの吹抜でガスボイラーや高圧変電器室に使われており、半分は2階建のプレハブが建てられ関連企業が入っています。関東大震災(大正12年)にも耐え、102年経った今も現役で使われています。品川百景にも選ばれています。  
取材後、京浜東北線の車窓より見ると、今まで以上に荘厳で歴史を感じ、目に飛び込むようになりました。



頂部 I G R のマーク

## 赤レンガ塀へ一本橋保育園付近へ

明治25年開設の後藤毛織物後の鐘紡工場は、阪急から立会通りにかけて約2万坪の敷地を有し周囲はレンガ塀で囲まれました。工場では軍需品の毛布、靴下や洋服などを製造し、大井町駅まで引込線でトロッコに乗せて運んでいたそうです。  
昭和20年の東京大空襲で工場の大半は焼失しました。関東大震災、東京大空襲を乗り越えて、明治、大正、昭和の激動の時代から現在まで大井町に残ったこのレンガ塀を眺めながら、地域の先人たちに想いをはせてみませんか。



↑一本橋保育園付近の駐車場  
大井1丁目駐車場のフェンス下

# 歴史のあしあと探し 建造物編



## 赤レンガ塀へ大井バプテスト教会へ

昭和6年に大井の地で伝道を開始し、3年前80周年を迎えた同教会にお話を伺いました。  
昭和22年に現在の教会が建てられる前にあった病院(紋谷医院)で使用されていたレンガ塀と石柱が今でも残されています。よく見ると石柱は花壇の一部となり、周囲の風景に溶け込んでいます。石造りの病院だったのでしょか？  
古いものを残そうと工夫された当時の教会の方々の思いも偲ばれる歴史ゾーンです。



花壇に残る赤レンガと石柱



塀の上から顔を出すコンクリートの蔵

## 蔵へ伊藤学園付近へ

高い塀の中に四角い蔵が見えます。戦後に建ったそうで壁はコンクリート。土蔵とはちょっと趣が違いますが、高窓があり、やはり蔵なのです。元は質屋さんで、今は物置として使っているそうです。「昔、泥棒が入った事があるんですよ。それから年末などはお巡りさんが警備して下さったこともあるんです。」と話して下さいました。  
建物が頑丈でも、泥棒が入る時は入るんですね。

## 蔵へ品川歴史館向かいへ

品川歴史館正面、瓦ぶきの大きな門の奥に蔵があります。持ち主の方にお話を伺いました。  
皇紀2600年昭和15年を記念して、門・蔵・井戸を先代の方が造ったそうです。地上2階、地下1階の蔵には、災害時に備えるため、食材や物資が保管されていたそうです。大谷石積みで、中の壁は白く塗られており、窓は鉄格子入り、70年格以上経った今でも、風ががしり重厚です。  
蔵としての機能も健在で倉庫として使われているそうです。現在、住宅は変わりますが、変替工事中ですが、門と蔵と井戸は残っています。



池上通りに面する門

**井戸〈おまけ〉**  
地名にも残る大井の「井」  
学校や路地に残る昭和の井戸が今も井戸水をくみ上げています。



大井第一小内 山中小内 伊藤学園内 大井5丁目 大井5丁目 大井5丁目 大井3丁目 大井5丁目

# 知ったまのプロジェクト

『お座敷創作料理 にしかわ』  
大井2-24-1

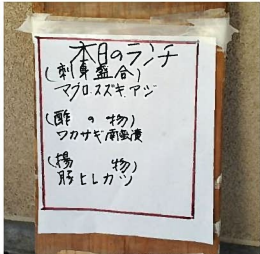
グルメ編

今回ご紹介するお店は、一本橋保育園に程近い住宅街にあります。平日のランチタイムになると、近隣のサラリーマンやご近所の主婦、お年寄りの方で店内はにぎわいます。

元々は25年前程に一本橋商店街にお店を構えていました。5年前の道路拡張工事に伴い、自宅の一部を改装して現在の場所になりました。知らないと通り過ぎてしまいそうです。


〈安くておいしい〉がお店の売りで、大井町に店を構えてからランチの値段700円は変わっていません。お客さんを待たせずに、お料理を出す事にも気を配っています。ランチは1種類ですが、お刺身、お肉料理、酢の物あるいはお魚料理と3品が付き、これにご飯、みそ汁、漬け物です。

訪れた日のメニューは、写真の通りとてもバランス良く、ボリュームもたっぷり。お刺身は新鮮ですし、ヒレカツもサクサクでしたよ。



店主の西川亮さんは、ホテルオークラや赤坂プリンスでフランス料理のシェフとして10年間働き、その後1年間オランダやフランス等ヨーロッパを周りました。帰国後は焼き鳥屋を経て日本料理を修業し、大井町に「お座敷創作料理 にしかわ」を開店。この遍歴が創作の源になっているのかもしれない。

基本は平日ランチの営業ですが、夜は予約制で宴会も可能です。宴会料理もボリュームとおいしさを評判です。  
【飯高・上村】



大井第一小4年  
カモミールさん  
「はじめての学校」

AEV  
ヒント

皆笑顔で、入学式のワクワクした気持ちが伝わってきますね。  
(´▽´)  
表情は良く描けているので、次は真正面のポーズだけでなく、いろんなポーズに挑戦してみよう!

イラスト

ク  
ラ  
シ  
ク

つ  
ぶ  
や  
き

あるお勉強中のつぶやき

長男:「今日、学校で反対語の勉強したよ!」  
次男:「反対語ってなに?」  
長男:「『大きい』に『小さい』ってことさ」  
母:「それじゃあ『買う』の反対語はなあに?」  
次男:「『見るだけ』かな?」  
長男:「『がまんする』だよ!」  
母:「ええっ……?!」

「買う」の反対語は「売る」ですね!でも買う前にはよく考えて、時にはがまんすることも必要ですね!

イラスト、つぶやきの投稿は大井第二地域センターまで

【真杉・乾】

## 知っとき隊! 広げ隊!!

～オレンジリングの輪～



皆さんはオレンジリング(ブレスレット)を見たことがありますか?

これは、認知症サポーター養成講座を受講するともらえるリングです。

認知症サポーター養成講座とは、厚生労働省が行っている認知

症サポーター100万人キャラバンの取り組みで、現在340万人のサポーターがいます。

大井在宅介護支援センターの宮田さんに、地域の取り組みについて話を伺いました。平成25年12月31日現在、品川区の認知症サポーター数は6,986人だそうです。民生委員や各町会でも定期的に受講し、小野学園の中学生は毎年40人ほど受けています。

認知症は、65歳以上の方で10人に1人、85歳以上になると4人に1人がなってしまうと言われる病気です。認知症は怖くないんだ、普通のことなんだということを知って欲しいと宮田さん。また、一番辛いのはご本人なので、心のバリアフリーを進めたいとおっしゃいました。

認知症サポーター養成講座は、4～5人の講習から受け付け可能です。講習時間は1時間～1時間30分、DVD講習でも、ディスカッション講習でもなんでもご要望にお応えしますとの事です。私も受講した経験があり、認知症を知るよいきっかけになりました。



◆お問い合わせ◆

大井在宅介護支援センター TEL: 03-5742-2723



【末松、レイアウト: 岡崎】